

区政を動かす日本共産党江戸川区議団

私も区民のみなさんの声をまっすぐ届けます



27歳

日本共産党

地区わかもの相談室長
区議会議員予定候補

太田あやか

日本共産党区議団は、区民が主人公、くらし・福祉優先の区政をめざしています。条例・予算修正など積極的な提案で論戦をリードし、都議団、国会議員団とも連携し、区民の声を力に自民・公明など与党の壁をのりこえ実現しています。私も地域のみなさんの切実な願いを実現するため、全力でがんばります。

学童クラブのおやつ復活、 保育時間も延長 ——公約を実現

2013年度から廃止された学童クラブのおやつ。日本共産党区議団は復活の条例を14年以来3回、予算修正は毎年提案。区議選でも公約し、19年には保育時間延長と合わせて条例提案しました。



条例案は3回とも自民・公明党により審査さえされませんでした。しかし、区は、区民の声の高まりと日本共産党区議団のねばり強い論戦により、21年度から復活し、保育時間も夜7時まで延長。正規指導員も20年ぶりに採用されました。

医療費18歳まで無料に ——都と区の日本共産党議員団の連携で

日本共産党区議団が2021年3月に条例提案。党都議団も同様の条例を提案する中、都が動き、区も来年度からの無料化を決定しました。



子どもの国保料が就学前まで半額に ——区議会から声をあげ国を動かす

収入がない子どもの分まで国民健康保険料(均等割り)を徴収する制度はおかしいと、日本共産党区議団は18歳までの免除条例を2019年6月に提案。世論の高まる中、国は22年度から、就学前まで均等割り保険料を半額にしました。日本共産党は18歳までの対象拡大、さらに全額免除を引き続き求めます。



補聴器購入の補助が2万→3.5万円に ——建設的提案が生きる

区長は消極的でしたが、日本共産党区議団は2020年12月、区医師会の意見も参考に、補助の増額と購入後の調整支援を提案。さらに都の補助金制度の活用も提起。翌年12月、2万円から3万5千円に増額されました。ひきつづき対象拡大など制度の充実を求めています。



いのち・くらしを守る あったか 区政へ

太田あやかは約束します



4人の力を合わせてがんばります
左から3人目が太田あやか

コロナ禍・物価高騰で生活が大変ないまこそ
23区で一番の
ため込み金(基金) **2176億円** の一部を
くらし・福祉へ

医療と保健所の体制を拡充

区独自の生活支援給付金の支給

奨学金返済で困っている方へ
補助金制度

学校給食費を無料に

CO₂の60%削減を
2030年までに

補聴器の購入費補助を拡充

水害からいのちを守る
防災ラジオを希望する人に

- ◆水害対策は見通しのある現実的な方法で
- ◆コミュニティバスの拡充を
- ◆公営住宅の増設
- ◆保育士増員、保育内容の充実
- ◆先生を増やして学校教育の充実
- ◆ジェンダー平等を推進する区政を

